

全勤労大衆諸君ニ告グ!!

国立国会図書館

特501

623



0036768000

2

0036768-000

特501-623

全勤労大衆諸君ニ告グ!!

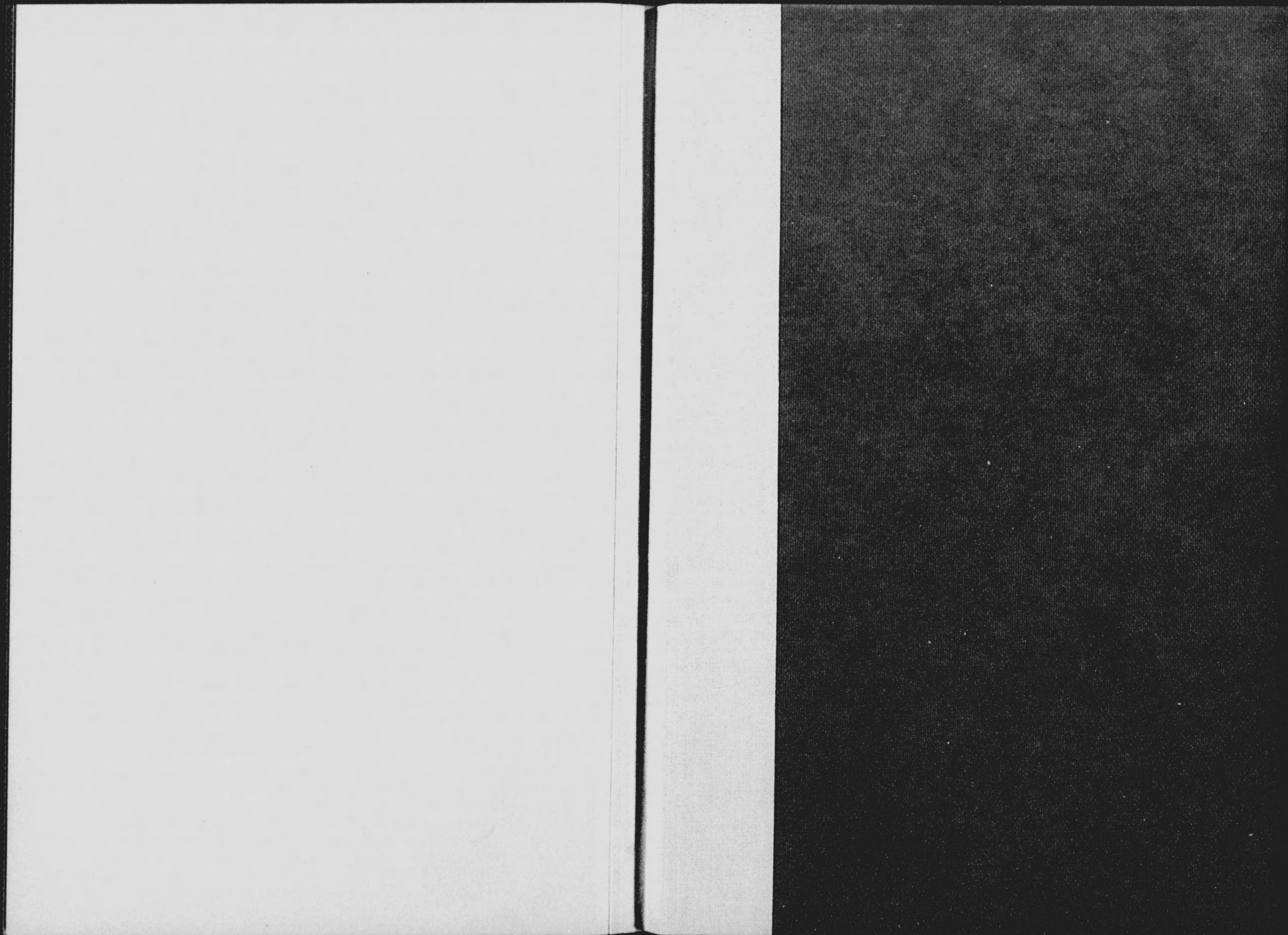
畑時夫・著

国民思想研究会

昭和9. 4

AGF

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法
第67条の規定に基づき、平成12年3月23日
付けで文化庁長官の裁定を受け使用するものです。



204-67



全勤勞大衆諸君ニ告グ!!

國民思想研究會

4.10

禁止

大改手配分

(西岡)

出
第 1057
永久保存



特501
623

79W10085

全勤勞大衆諸君に告ぐ!!!

時代の歴史的崩壊

諸君！今全世界は恐慌不安の渦が捲いて、既存國家を存亡の十字路に立たせてゐる。この世界的恐慌不安の根本原因は畢竟食ふ事の出来ない人間の社會的充満に在る。如何なる非常時も人間が飢餓の恐怖に優る非常時はあるまい。

成程、自由主義による處の近世資本主義は、驚くべきまでに全体的富を増大せしめた。だが併し富を生産するに云ふ事に於ては全智の神も跪くであらうけれども、折角生産したその富を全人類に分け與へる——即ち近代文化の恩恵に全人類を均霑せしめる分配機能に於て公平、平等を缺くの結果、富は一部に偏在し、不幸なる無産大衆の幾何級數的增加は、貧富兩階級の對立的存在の線を益々濃くならしめたのである。之れに關する批難痛撃は此處に云々するまでもなく最早一個の社會的常識化されてゐる。

而して、資本主義が自由主義時代から獨占時代に發達するに及び、その体内に宿されてゐた社會的矛盾も漸く擴大化されるや、自らの手で墓穴を掘るの自壊作用を始めるに至り、世界に今日の斷末魔的な經濟恐慌を呼起すに至つたのである。

即ち今日の世界的經濟恐慌の嵐は、資本主義の自壊作用による處の不可避的に體驗しなければならぬ世界の必然的運命だつたのだ。而してこの斷末魔的不景氣の克服の爲めに各國が死もの狂ひになつてなされた總ての工作も一にして止まらず物價調節、暴利取締、産業の合理化、高率關稅、金輸出禁止、第一次世界戰爭等々、しかしその悉くは反對の結果に終り、一九三三年六月十二日、六十四ヶ國代表が集合して開かれた、あの國際經濟會議の歴史的失敗等は、各國をして文句なしに、鎖國的、自給自足的經濟に押しやつて、世界經濟の前進は、事實上約二世紀餘の後退を餘儀なくさせ、十八世紀のマーカントリズムの眞唯中にまでも轉落するに至つてしまつたのである。

如斯して、自由主義や國際主義の終息を暴露してからの世界經濟の動向は、國際的には鎖國主義へ、國內的には統制經濟的色彩を帯びるに至り、國民の生活は益々疲弊困憊し、失業者は無限に増大、且つ悠久化してきたのである。正に時代の歴史的崩壊が始められてゐるのだ。而して次ぎの時代を建設する者は誰だ？ 誰でもない、全勤勞大衆諸君に外ならないのだ！

東洋の危機!!

而して、今哉世界は恐慌克服に殘された最後の冒險を考へ出してゐる。それは

『日本を叩潰して、支那を分割する』

（即ちこれだ。）

次の時代、新らたなる社會の建設を願はぬ者達に取つては、第二次的世界戰爭はさうしてもやらなければならぬ現實的恐慌打開策にのこされた最後の鍵なのだ。

勢の趣く處、躡ては大太平洋上の浪波荒れ狂ひ、支那全空は砲煙渦巻き、草木赤血に染つて、大地は徒に愛國者の血を貪り啜るだらう。併しだ、この愛國民、勤勞大衆が身を犠牲にして戦ふ、世界戰爭は果して我々國民大衆の爲めに得る處がされ丈けあるのだらう？ 勿論、今日の時代に於ては國家の存在なしには國民の幸福を考へる事が出来ない以上は、たゞへ身は屍化しても同胞の爲めに戦ひ勝たねばならない。だが戦ひにはよし勝つたとしても、後に殘された同胞の最大多數は決して現在以上の利益は期待出来得ない。其の戦ひに依つて利益を受ける者は誰であつたかを過去の歴史によつて知る時、國民の血は冷たくなる。

しかも最早今日の不景氣、財界恐慌は世界の期待するやうに、戰爭手段に依つても克服は出来ない。なぜかなれば、戰爭手段に雖、畢竟するに、資本主義的な外部的部分的外科手術でしかないからである。只、不幸にも征服せられた國民の戦禍に倍加せられた苦惱の現實に喘ぐ惨しい姿を観るばかりだらう。しかし我々の嗜む否を論ぜず、侵略の甘味になれた者達は着々その準備を進めてゐる。一片の外交的文書を兩國代表が交換したからと言つてこの國際的緊團氣が解消されたなきを考へるは早計である、外交的辭禮は事實をカモフラージする詐術的詭辯でしかないのだ。

各國の恐慌克服運動!!

米國のN.R.Aに依つて利益するもの？

併し、此處に至る迄には尙各國は國內的救護工作に懸命である。其の中でも、米國のN.R.A、伊國のファシズム運動、獨乙の國民運動、ソビエト聯邦の共産國家運動等は我等の注目に價するものがある。が此處には伊、獨の國民社會主義、ファシズム運動、ソビエト聯邦の共産國家運動は暫く置き、我國の社會的情態の最も相似てゐる米國に於ける、國民産業復興法案に依る恐慌打開策を検討し、今漸く我國の情勢が此處に至らんとする時にあたり、それを知る事に依つて、我々勤勞大衆の將來さるべき態度の参考に資しやう。

即ち、かつては萬年景氣國として自他共に許されてきた彼も、資本主義の自壞作用に依つてなされた不況の嵐には行ふに術もなく、一九一九年の『株式恐慌』を一轉期として加速度的に經濟的惡化の一途を辿り、遂に、『農村恐慌、銀行不信』等陸續として起り、悲惨なる現實の苦盃を舐るに至り、廣汎なるそして深刻なる不景氣は『アメリカには一人たりとも飢ゑたる人が在つてはならない』と云ふ悲愴なる聲明を、新大統領就任の第一聲となさしめるの常態にまで立至らしめてしまつたのであつた。

富を抱いて不景氣に泣く。この矛盾は『信用の墜失による資本の失業』の結果に外ならない。産業界の萎縮は必然的に勞働賃金の低落、失業者の増大を観る。昨年四月初めに於ける全米失業者は政府筋の發表二百萬人、勞働局發表七百万人と言はれ、又物價は慘落してゐるが、賃金安の爲めに國民の購買能力は弱る一方である。斯くては國家の存在も危きとして、さしもの米國政局も全國非常狀態の存在を公式に是認するに至つた。

斯くて大統領に、自由の誇を投出して未曾有の經濟的獨裁權を委ね、新設せられた國民産業復興法に依つて米國民は今血みぎろになつて經濟恐慌克服の爲めに戦ひつゝある。

では全國的非常狀態下に於ける自眉の政策として起てられた、N.R.A.とは如何なるものだらう？ 『N.R.A.の理論』この理論には從來に於ける資本主義の根本的精神の組織的變更を要求し、統制經濟の思想が多分に盛られてゐる。即ち國家權力を以つて、企業を束縛し、賃金、物價を統制して

獨占化されんとする利潤を取締り、又生産費の引下げに依つて原價を安くし、安價に物品を供給して、需要を促し、企業の勃興を促進するこの從來の常識を破つて、失業者の就職、労働賃金の引上げに依つて、國民の購買能力の増進を計り、企業の活動を促進せしめ、斯くて國民の購買能力を基礎づけて置いて、物價の吊上げを行ひ、不景氣を克服しやうとて、一意失業者の就職、賃金の引上げに、政府は幾多資本家の反對を押し切つて、斷固たる確信の下に既にその政策を遂行しつゝある。

處が翕然として大衆の熱心なる支持を受けながらも、正に息絶ぬんとする重病患者を蘇らせ得る、扁鵲の靈術を彼も又持合せぬかして、折角のN.R.A.の強行も、資本主義下に於ける計畫經濟が必然的に直面する矛盾を遺憾なく暴露して、労働者の賃金は吊上げられたが、時間の短縮に依る結果収入は却つて減つてゆき、批評家より『この新政策によつて、まづ利益を受ける者は、労働者に非ずして資本家である。資本家は自由自在にカルテルを運用して價格の吊上げを行つて利潤を得るが、労働者は賃金の騰つただけ物價騰貴に依つて得失は相殺されるだらう』この新政策發表當初に於ける批評を今では甘受するの光榮に浴してゐる。然も總収入が減つて、物價が騰つては労働者は泣顔に蜂である。畫餅を抱いて飢へに泣く、それが今日の米國の労働者だ。しかも希望をかけただけに、惱みは深く掘下げられて悲惨である。

又失業者の減少に於ては、昨年九月以降減少した失業者は僅に八十万人、完全失業者今尙六百万乃至七百万人と言ふ成績で、救はれた失業者も畢竟労働者との共喰でしかない有様なのである。一方農村に於ては、農民の農産物價は、その購買物價に比らべて安過ぎて、N.R.A.に依つては救はれないのみか、農民生活は愈々窮迫するばかりで、遂に農民の不滿が爆發してしまひ、あの全米農村罷業開始の宣言まで飛出してしまつたのである。

而して大勢は、N.R.A.の強行も何等なす處なく、商品の賣行は不振を極め、大衆の消費能力は加速度的に減退し、産業界の不振又悲惨。N.R.A.發表後一時好轉したかにみわたる經濟界も、昨年七月を轉期として、逆轉三轉、加ふるに大藏長官、ウーデン、財政顧問スプレーグの辭職も云ふ政治的破綻は之れに拍車を加へ、最後の切札として世界に投げ出した『平價切下げ』も徒に國際市場を混迷の坩堝に追込むに役立つのみで、財界不安の氣分濃厚なるばかりである。

而も資本家はN.R.A.の命令に従はない。爲めに、彼等の利潤慾の追求はなほだしくカルテルの應用に依つて自在に物價を吊上げるが、現實賃金は騰げやうともしない云ふ。

斯くて、労働者の不滿は隨所に爆發し、米國最高の勞資協調機關である全國労働局の二月中旬に於ける發表によれば、昨年十月から二月中旬までに、同局が調停した労働爭議數百八十一件に上ると謂ふ。

しかも其の後愈々労働者の不滿は騰り、四月二十日の報導によれば、遂に、自動車會社が大罷業の口火を切つて各工場續々危険に瀕するさか、後ル大統領の仲裁で一事件戦したことは言へ全米漸く不滿の聲に溢れ、妖雲下つて正に嵐を呼ぶの感である。

而して米國がこのN.R.A.の強行に完全に失敗し、見切をつけた時こそ、東洋に向つてあの完備した軍艦を動員して、太平洋の波を破つて、我れに發砲する秋ではあるまいか。以上に依つて觀たるが如く米國のN.R.A.も畢竟、労働者、農民に取つては得る處はなく、全労働者の生活上、失業者解消の大看板も、その裏を潜れば、勤勞大衆に不利益な事ばかりである事を暴露し、尠かに我國の政治家の如く資本家の鼻呼吸のみ窺つて、國民今日の苦境を省みやうとしないのに比して、時として資本家の反對をも省みず、その主張を通さうとする飛躍的態度を觀せて、彼等にも良心が有るさうなづかせただけである。

国防上より觀たる

勤勞大衆の社會的生活

撲滅せよ惡資本家！ 組織せよ勤勞大衆！

國家非常時といふ言葉は今日に於ては最早常套的までに一般化されるまでになり、この熾烈なる國家意識は種々なる方面に如實に反映してゐる。所謂國家非常時といふ言葉は單なる概念の遊戲ではなく抽象的な問題でもない。今祖國日本に襲ひかぶさつてゐる切實なる現實の問題なんだ。國際的には一九三六年の危機、國內的には饑餓と失業と不安の充満、其の一として我々國民の樂觀を許さない。しかも非常時日本の支柱として眞に信頼するにたる何物もない現情を惟ふ時、冷汗三斗の思ひがする。各國は今日の非常時克服の爲めに時として資本家の反對をもしりぞけて、まがりなりにも懸命の努力を續けてゐる

つて世の中が救はれた事實などは何時の世にも見る事は出来ない。レニンやヒトラー又歴史を織る幾多の英雄は畢竟勤勞大衆の意志の結び目であり、指導者であつたに過ぎない。彼等は勤勞大衆のガツシリミスクラムされた上にのみ存在が許されてゐる。

舊支配力の防衛陣をけちらして、輝やかしき新社會の建設、皇道耀として輝く新日本の建設は、力ある勤勞大衆の組織的實踐であるのみだ。

勤勞大衆よ組織を持て!!

今日の如き社會情態下に在つて眞に國家非常時を打開せんご欲すれば多少の犠牲あるは當然である犠牲なくして改造を欲するなきは虫がよすぎる。而して組織の中に注結せられ舊套打開、新日本建設の爲に戦ふ勤勞大衆の闘争は飽迄國民全体闘争であるの故に國家はこれを是認し支援すべきである。これを支援する態度こそ眞の皇道の輝きを一層耀たるものごし心なき萬草も之れを悦び、斯くてこそ東洋の覇者、世界の日本ごしての誇りが在る。

勤勞大衆よ! 諸君等に荷せられた任務は大きい。まづ我々は組織權の國家的公認、生産支配機關への參與權——これは現下に於ける生産支配機關である株主總會、重役會議等に我々勤勞者代表を参加せしめる事である——の獲得の要求に向つて闘争せよ!! 全國家運動団体よ! 末稍的黨派感情を解消して團結せよ! 茲にのみ我等の明日への道があるのだ。

私が上述の如く大膽に現實の一片を暴露し勤勞大衆に組織を要求する態度は、一に祖國が國際的危機を目捷に控へて、臆ては護國の鬼ごなるであらう、若き勤勞大衆に後顧の慮のなき様にこの見地ご、今日祖國の民衆の經濟苦惱に痛ましくも、やつれはてた姿を觀るに忍びず、体内よりにじみでた愛國的正義觀に外ならない。國民の饑ゆる處國家の安康は有り得ない。しかも今日の社會組織の存續する限り國民をして、その疲弊困憊を悠久の淵に陥れてゆくは必然である事を認識する、即ち茲に社會の改造を叫ぶ所以である。

(昭九、三、二十五記)

昭和九年四月一日印刷
昭和九年四月三日發行

不許複製

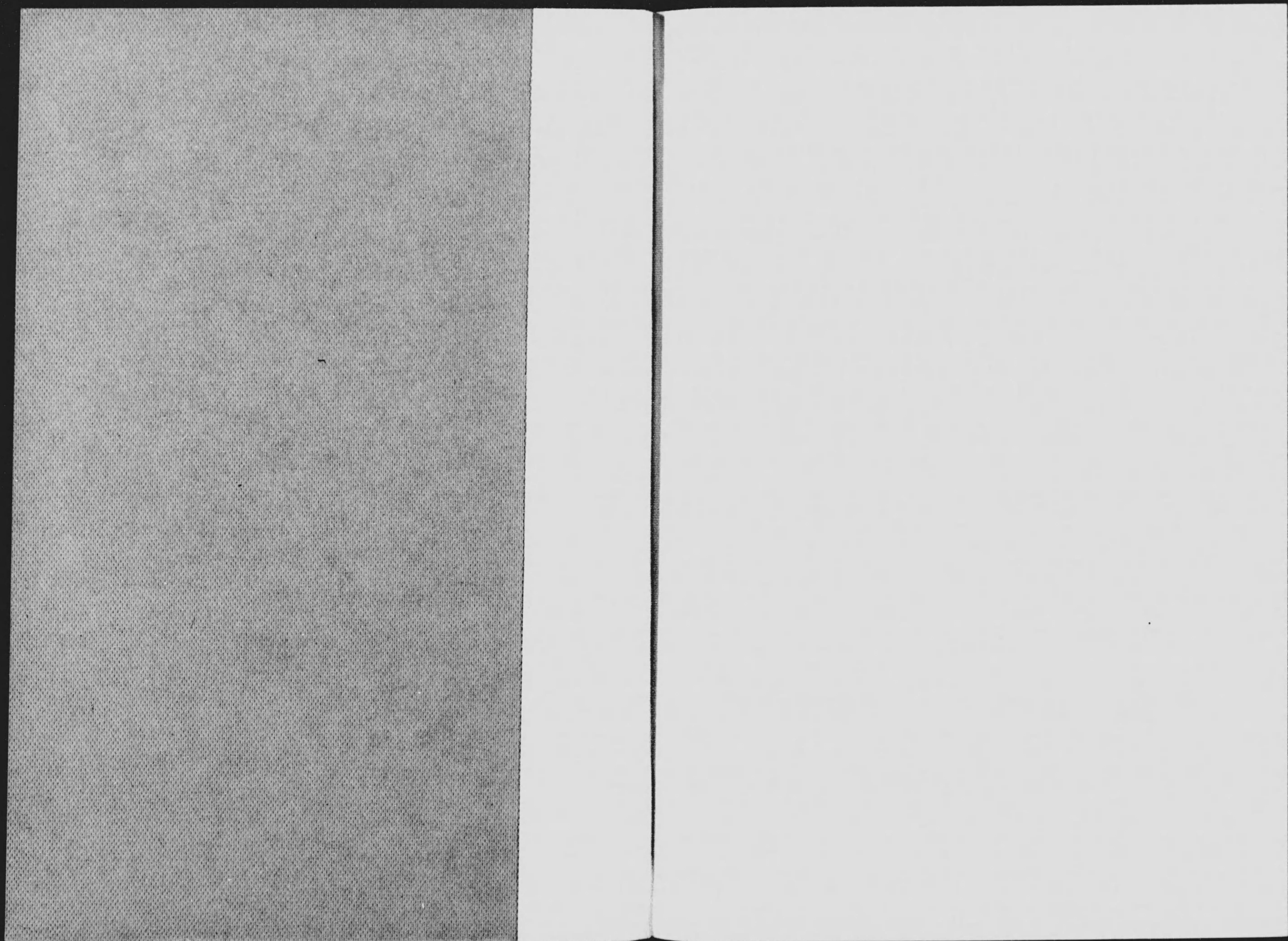
發行兼著述者 畑 時 夫
大阪市西成區南神合町二〇
發行所 國民思想研究會
大阪市東區鎗屋町二丁目二四
印刷所 本 田 印 刷 所
大阪市東區鎗屋町二丁目二四
印刷者 本 田 恒 市
(定價五十錢)

2007-17

#345

Q71

1004



413